

令和元年度  
2次医療圏地域・職域連携推進協議会  
及び  
ワーキング会議の開催状況



地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

医療圏 (保健所)	地域・職域連携推進協議会内容	地域・職域連携推進ワーキング内容	連携事業
尾張西部 (一宮)	<p><b>【内容】</b></p> <p>(1) 令和元年度の取組みについて</p> <p>(2) 令和2年度の取組みについて</p> <p>その他：情報提供</p> <p>                    コロナウイルス感染症：労働者、企業向け Q&amp;A について</p> <p><b>【評価指標に基づく結果・考察】</b></p> <p>○ 連携事業の実施状況の分析</p> <p>・健康経営に関する研修会の開催：労働基準協会、労働基準監督署、商工会議所と連携して実施することができた。また県の健康づくりの推進に関する協定を締結した生命保険会社の講師を活用することもできた。</p> <p>・高血圧予防啓発ポスターの作成・配布：ワーキングメンバーにより検討したポスターを A4 版 12,000 枚、A2 版 300 枚印刷し、関係機関に配布した。印刷費はチョダ地域保健推進賞の助成金を活用した。</p> <p>・社員食堂等給食施設への支援：健康社食プロジェクトを立ち上げ、今年度から次年度に向け高血圧予防メニューの提供に向けた支援を開始。給食施設のある事業所や管理栄養士養成施設、医療機関等新たな連携が始まった。</p> <p>・アンケート結果の還元：昨年度実施したアンケート結果を事業所毎にも集計し結果を還元した。また食生活改善への取組みに活用してもらうため、栄養士等にも結果を説明した。</p> <p>・大規模商業施設における啓発活動の実施：1/18 テラスウォーク一宮において啓発活動を実施。その他、機会をとらえ高血圧予防について啓発した。</p> <p><b>【考察】</b></p> <p>○ 3年計画の2年目として、昨年度の調査結果を活かした内容の取組みを実施することができた。</p> <p>○ 大型商業施設との連携による啓発活動については、本事業の取組みをきっかけに、各市や関係団体等との連携も行われるようになった。</p>	<p>&lt;第1回&gt;</p> <p>令和元年6月28日(金)</p> <p>(1) 尾張西部圏域地域・職域連携推進事業について</p> <p>(2) 今年度の計画及び取組みについて</p> <p>(3) 啓発ポスターの作成について</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾張西部圏域地域・職域連携推進事業一覧表について</li> <li>・愛知県認知症施策推進条例についての事業所向けパンフレット</li> </ul> <p>&lt;第2回&gt;</p> <p>令和2年1月30日(木)</p> <p>(1) 今年度の取組みの進捗状況について</p> <p>(2) 次年度の計画について</p>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の健康に関するデータから、地域の課題である高血圧該当者の状況を共通認識できた。</li> <li>・高血圧予防啓発ポスターについて、事務局案について検討することができた。</li> <li>・H29年度作成した「連携一覧表」を更新した。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>○ポスターの印刷・配布に使う予算がほとんどないため、事業所に効果的に届けることが難しい。</p> <p>○連携一覧表の有効活用。</p> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高血圧予防啓発ポスターについては、最終案の検討と配布方法について検討することができた。</li> <li>・社員食堂等給食施設への支援を「健康社食プロジェクト」として実施することとし、その内容について検討することができた。</li> <li>・各ワーキングメンバーに所属する組織の課題等発言してもらい、共有することができた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>○ 健康社食プロジェクトにおける評価の仕方。</p>
尾張東部 (瀬戸)	<p><b>【内容】</b></p> <p>1 令和元年度地域・職域連携推進事業について</p> <p>2 令和2年度地域・職域連携推進事業(案)について</p> <p>3 その他</p> <p>(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、資料送付での開催とした。)</p> <p><b>【評価指標に基づく結果・考察】</b></p> <p>・事業主または健康管理担当者向けの「働く人のための健康づくり応援ガイド」を商工会議所、商工会等を通じて事業所に配布した。また、事業所の健康管理担当者が出席する研修やイベントでの配布を実施し、健康づくりに関する情報提供を行った。次年度は、活用状況や反応等を把握し事業の最終評価を行う。</p> <p>・関係機関の連携促進のため、互いの業務の理解を深められるよう、作業部会では、取組み紹介や、小グループによる意見交換会を実施した。健康経営に取組</p>	<p>&lt;第1回&gt;</p> <p>令和元年7月4日(水)</p> <p>1 尾張東部圏域の健康情報について</p> <p>2 令和元年度地域・職域連携推進事業計画について</p> <p>3 市町における取組みについて</p> <p>4 意見交換「働き盛り世代への地域の保健事業について有効に活用してもらうため、地域から職域に向けてどのような働きかけができるか」</p> <p>&lt;第2回&gt;</p> <p>令和元年11月20日(水)</p>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の健康情報から課題を確認した。</li> <li>・市町が、若い世代や職域を意識して実施している健康づくりの取組みについて情報交換ができた</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診率は高いものの、特定保健指導終了率は、年によりばらつきがある。健診結果を踏まえて、生活習慣病を予防するための次の行動につながっていない可能性がある。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p>

	地域・職域連携推進協議会内容	地域・職域連携推進ワーキング内容	連携事業
尾張東部 (瀬戸) 続き	<p>んでいる企業の事業主に講演を依頼したことで、企業が取り組む健康づくりについて、より具体的なイメージを関係者で共有することができた。参加者からも考え方が参考になったと好評であった。</p> <p>・商工会健康診断会場で、受診者向けに、生活習慣予防に関する健康教育を実施するとともに、健康診断の結果を活用できるよう働きかけを行った。市町のがん検診、マイレージ等の周知も併せて行った。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 尾張東部圏域の健康情報について</li> <li>2 講演「職場で取組む働く世代の健康づくり～健康経営について～」</li> <li>3 講演「企業における健康経営の取組みの実際」</li> <li>4 意見交換</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言者及び、実際に健康経営に取り組まれている企業の事業主から講演を頂いた。特に実際の取組みについて、大変参考になったとの感想が聞かれた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業で実際に取組まれている内容からヒントを得たため、その他の企業への情報提供ができると良い。</li> <li>・健康づくりに関して関心がない人へのアプローチについて検討する必要がある。</li> </ul>
尾張北部 (春日井)	<p><b>【内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 協議会開催方法について 新型コロナウイルス感染拡大防止措置の為、書面会議での開催とした。</li> <li>2 議題 (1) 尾張北部地域の健康情報について (2) 令和元年度地域・職域連携推進事業について (3) 各市町及び協会けんぽの取組みについて (4) 令和2年度地域・職域連携推進事業計画(案)について</li> </ol> <p><b>【結果】</b></p> <p>下記事項を共有し、次年度計画について承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療圏の健康情報としてのデータ(健診受診率や有所見率等)より地域の健康課題(高血圧)について</li> <li>・高血圧を中心とした生活習慣病予防に向けた地域と職域が連携した具体的な取組みについて</li> <li>・市町の健康施策や保険者データヘルス計画においての重点取組み</li> </ul> <p><b>【評価指標に基づく結果・考察】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 関係機関との連携体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に市町毎の打合せ会7回実施、作業部会2回実施</li> <li>・プロジェクト検討会2回(情報誌作成の為)</li> </ul> </li> <li>2 事業内容が目的に対し適切であったか。(関係者の反応、理解、感想、健康づくり出前講座手順書の作成) <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診等のデータ分析から健康課題である高血圧について取り組む必要性を関係者と共通認識できた。</li> <li>・情報誌「働く人のための健康づくりガイド」についてテーマを『会社で取り組む高血圧対策』とし、リニューアル発行した。事業主及び人事労務担当者が従業員の高血圧予防に関心を持ち事業所で取り組めるようチャレンジメニューを提案している。関係者や事業所からは、見やすい、分かりやすいという感想をもらっている。</li> <li>・健康づくり出前講座について、高血圧予防テーマを新たに設定するとともに、事業所の健康づくり活かすため「健康づくり状況確認シート」を手順書に追加した。</li> </ul> </li> <li>3 情報誌配布数、健康づくり出前講座・職域への啓発活動実施回数</li> </ol>	<p>&lt;第1回&gt; 令和元年6月27日(木)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特定健康診断結果データ等から見る尾張北部医療圏の健康課題</li> <li>2 今年度の地域・職域連携推進事業について</li> <li>3 働く世代の高血圧予防対策の取組み (1) &lt;グループワーク&gt;働く人のための健康づくりガイドの見直し (2) 健康づくり出前講座</li> <li>4 その他 <b>【情報提供】</b>愛知県認知症施策について</li> </ol> <p>&lt;第2回&gt; 令和元年10月4日(金)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 働く人のための健康づくりガイド～会社で取り組む高血圧対策～ (1) プロジェクトチーム検討報告及びガイド(案)について (2) グループワーク 「働く人のための健康づくりガイド」発行に向けての検討 ア ガイド(案)について イ 配布・配信方法について</li> <li>2 健康づくり出前講座及び職域への啓発活動の実施状況について</li> <li>3 社員食堂の食環境整備について</li> </ol>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の健康課題を明確にし、共有することができた。</li> <li>・毎年定例で発行してきた情報誌「働く人のための健康づくりガイド」を、事業目的を踏まえ改善するにあたって、グループワークでブレインライティングの手法を用いてメンバーの意見を引き出すことができた。そして、その意見をもとにプロジェクトチームでの検討により情報誌を作成できた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「働く人のための健康づくりガイド」について、効果的な発行方法を検討する必要がある。</li> <li>・健康づくり出前講座実施事業所が、引き続き健康づくりに取り組めるような支援が必要と考える。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「働く人のための健康づくりガイド」の効果的な発行方法を検討するとともに、今まで以上に各機関に配布協力を得られることとなった。</li> <li>・健康づくり出前講座について、講座担当者からの課題(講座媒体の圏域内統一・実施後の事業所フォローについて)共有することができた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌発行の評価の方法について</li> <li>・健康づくり出前講座について、圏域内で統一した媒体を検討する必要がある。</li> <li>・今年度の取組みを踏まえて、より効果的な高血圧啓発及び事業所支援を検討し次年度取組む。</li> </ul>

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

<p>尾張北部 (春日井) 続き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌を12月に発行、関係機関と連携し、紙配布665部。その他保健所、関係機関のホームページに掲載した。</li> <li>・健康づくり出前講座：15事業所延べ18回実施 511名受講 (うち、高血圧テーマで8回実施)</li> <li>・職域への啓発活動：19回延べ40回実施 (うち、高血圧テーマで9回延べ14回実施)</li> </ul> <p>4 情報誌を読んだ事業所の意識変化、支援申込事業所数、地域と職域の連携状況</p> <p>【情報誌を読んだ事業所の反応について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート集計</li> <li>・健康づくり出前講座申込み 2事業所</li> <li>・血圧計設置事業所 4事業所</li> <li>・商工会・商工会議所事業に置いての啓発9回延べ24回実施</li> </ul> <p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診データをもとに、関係者と分析、考察することにより地域の健康課題を明確にし、共有することができた。</li> <li>・作業部会とは別に、プロジェクトチームを立上げて活動することにより、地域と職域関係機関がより関与した情報誌「働く人のための健康づくりガイド」を作成することができた。</li> <li>・本事業の実施をとおして、関係者の関係作りが進み、地域・職域機関の連携した取組が増えてきている。</li> </ul>		
<p>尾張中部 (清須)</p>	<p>【内容】</p> <p>1 尾張中部地域の健康課題について</p> <p>(1) 尾張中部地域の健康課題に関する指標</p> <p>(2) 令和元年度の各市町商工会健診及びアンケート結果について 管内市町の標準化死亡比（EBSMR）や管内の商工会健診結果を分析し、以下の健康課題を共有した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器・脳血管疾患による死亡率が全国と比較して高い状況が続いており、働く世代の生活習慣病予防対策が必要。</li> <li>・県下でも喫煙率が高い地域であり、上述した循環器・脳血管疾患の死亡率が高い要因になっていると考えられる。</li> <li>・商工会が実施する商工会健診は特定健診と比較して受診者の年齢が若く、健診結果で「保健指導レベル」の割合が高いことから、この時期から適切な指導を実施することにより将来の生活習慣病発症リスクを低下させることが期待できる。</li> </ul> <p>2 改正健康増進法の概要について 令和2年4月1日に全面施行の改正健康増進法の概要を参加者で共有した。</p> <p>3 尾張中部地域における地域・職域連携推進事業について</p> <p>(1) 令和元年度の事業実績と課題について 今回の計画の柱である禁煙・受動喫煙防止対策の推進について、現時点では改正健康増進法の認知度が不十分であり、まずは地域への啓発と法令遵</p>	<p>&lt;第1回&gt; 令和元年6月12日（水）</p> <p>【内容】</p> <p>1 尾張中部地域における地域・職域連携推進事業</p> <p>(1) これまでの取り組みと令和元年度の地域・職域連携推進事業</p> <p>(2) 尾張中部地域の現状と健康課題</p> <p>(3) 健康増進法の一部改正について</p> <p>2 意見交換 テーマ：禁煙・受動喫煙対策事業について</p> <p>3 その他 愛知県地域包括ケア・認知症対策室より情報提供</p>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の健康課題を共有し、地域・職域連携の必要性を出席者で確認することができた。</li> <li>・前年度までの3年計画（H28-30）を振り返り、今後取り組むべき事業の方向性と新たな3年計画（R1-3）の方向性について参加者で共有することができた。</li> <li>・改正健康増進法の概要と各所属における受動喫煙対策について意見交換を行い、来年度実施予定の連携事業について、アイデアの提供を依頼した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内市町いずれも循環器・脳血管疾患での死亡率が全国と比較して高く、リスク要因である喫煙率が県内では高く推移している。</li> <li>・改正健康増進法の詳細が明らかになっていないため、連携事業を考案するにあたり、正確な情報の収集が必要</li> </ul>

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

<p>尾張中部 (清須) 続き</p>	<p>守の徹底が最優先事項である事を共有した。</p> <p>(2) 令和2年度の事業計画について 上述の課題を受けて作成した令和2年度の事業計画案について、出席者より、助言や協力の申し出を頂き、実施について承認を得た。</p> <p><b>【結果】</b> ①喫煙率データ</p> <table border="1" data-bbox="293 390 1213 529"> <thead> <tr> <th>性</th> <th>目標値</th> <th>ペ-スライン (H27)</th> <th>結果 (H28)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>17.0%</td> <td>34.0%</td> <td>34.3% (+0.3%)</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>4.0%</td> <td>8.4%</td> <td>8.2% (-0.2%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②中小事業所の従業員や家族への『健康づくり出前講座』の実施回数：3回 R1.4.23 豊山町商工会女性部（認知症） R1.9.04 全国労働衛生週間説明会（たばこ） R1.9.24 北名古屋市商工会青年部（たばこ） 上記以外で、市町商工会に対して改正健康増進法の説明会を計4回実施。</p> <p>③協議会及び作業部会の開催回数と協議内容・会議参加者の発言内容等 協議会：令和2年2月12日（水） 作業部会：令和元年6月12日（水）、令和元年12月11日（水）</p> <p><b>【考察】</b> ・受動喫煙対策・禁煙推進について、今年度は事業内容の検討を行ったため本格的な実施は来年度以降となる。評価指標である喫煙率は、特定健診受診者のデータを基にしているが、3年前の集計結果であり、対象者にも偏りがあることから、事業の評価には別の指標も用いる必要がある。商工会健診受診者に実施するアンケート等を活用していきたい。 ・出前講座については事業所からの依頼がない。実施に関する相談が2事業所からあったものの、実施には至らなかった。今年度は改正健康増進法の内容に関するニーズが高く、商工会からの依頼を受けて説明を行っている。法改正を控え、企業のたばこに関する取り組みの気運が高まっていると考えられるため、来年度は禁煙の推進について、積極的に出前講座を宣伝していきると良い。</p>	性	目標値	ペ-スライン (H27)	結果 (H28)	男性	17.0%	34.0%	34.3% (+0.3%)	女性	4.0%	8.4%	8.2% (-0.2%)	<p>&lt;第2回&gt; 令和元年12月12日（水）</p> <p><b>【内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和元年度尾張中部地域における地域・職域連携推進事業について             <ol style="list-style-type: none"> <li>事業実績と課題について</li> <li>商工会健診結果及びアンケート結果について</li> </ol> </li> <li>改正健康増進法について</li> <li>令和2年度尾張中部地域における地域・職域連携推進事業について             <ol style="list-style-type: none"> <li>グループワーク テーマ：禁煙・受動喫煙防止についての取組</li> <li>全体共有</li> </ol> </li> <li>その他</li> </ol>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の事業の実績と課題を共有することができた。</li> <li>来年度からの禁煙・受動喫煙防止事業の内容について、グループワークを行い、改正健康増進法の認知度の低さ、禁煙の推進にはまず法令遵守から進めていくべきである事が共通認識でき、具体的な取組内容についても多くの意見が得られた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中小事業所において改正健康増進法が認知されておらず、法改正に向けた準備が進んでいない。</li> <li>3年計画の目標である、喫煙率の減少に向けた禁煙の推進は、来年度、改正健康増進法の周知徹底を図った後に本格的に取り組むこととなる。</li> </ul>
性	目標値	ペ-スライン (H27)	結果 (H28)												
男性	17.0%	34.0%	34.3% (+0.3%)												
女性	4.0%	8.4%	8.2% (-0.2%)												
<p>海部 (津島)</p>	<p><b>【内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「健康づくり支援パッケージ」の作成 作業部会にて、市町村及び保健所の保健事業を整理し、海部医療圏の働く世代や事業所の従業員を対象とした「健康づくり支援パッケージ」を作成する。</li> <li>事業所への健康づくり支援             <ol style="list-style-type: none"> <li>労働基準監督署や労働基準協会主催の説明会等での健康教育実施</li> <li>支援の要望のあった事業所に対し、健康づくりに関する支援を実施</li> </ol> </li> <li>事業所の従業員の実態調査 事業所の支援を通じて、事業所の従業員の健康に関する意識調査を行う。</li> </ol> <p><b>【結果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「健康づくり支援パッケージ」の作成 3回の作業部会を通じて、令和2年度から管内全市町村が協会けんぽとWチ</li> </ol>	<p>&lt;第1回&gt; 令和元年6月24日（月）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>海部地域の健康課題について</li> <li>ブレイン・ライティングを参考にした取組みの検討</li> </ol>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <p><b>【成果】</b> <b>■現状分析</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>圏域の健康課題について、県の集計した特定健診のデータ、事業所アンケート等を基に分析し、考察する。</li> <li>ブレイン・ライティングにより、各機関の現在の取組を共有する。</li> </ol> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存のデータや実態調査、各機関の現在の取組を整理し、地域全体として取り組むべき健康課題と取組みの方向性をメンバーと共有。</li> </ul>												

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

海 部  
(津島)  
続き

チャレンジ宣言を実施することとなり、これを基に働く世代への健康づくり支援パッケージを完成させた。

2 事業所への健康づくり支援

(1) 健康管理担当者等への健康教育 (全 11 回、1083 名)

①健康経営に関する健康教育 (6 回、421 名、361 事業所)

日時及び説明会名称	概 要	参 加
R1.7.9 製造業安全管理説明会	<内容> ・事業所の健康経営について	54 名 42 事業所
R1.7.18 第三次産業(社会福祉施設)安全管理説明会	<時間>30 分 <その他> 参加者へ「事業所の健康づくりの取組に関するアンケート」を実施。	67 名 60 事業所
R1.8.7 建設業安全管理説明会		48 名 45 事業所
R1.9.18 第三次産業(小売業)安全管理説明会		27 名 27 事業所
R1.11.13 陸上貨物運送事業安全管理説明会		62 名 56 事業所
R1.11.6 あま・つしま安全衛生大会	<内容> ・人も企業も健康第一!!~健康経営のススメと具体的な取り組み~ <時間>30 分	163 名 131 事業所

②受動喫煙対策に関する健康教育 (3 回、560 名)

日時及び説明会名称	概 要	参 加
R1.9.11 全国労働衛生週間説明会	<内容> ・職場における受動喫煙対策	124 名 116 事業所
R1.9.1 食品衛生責任者再々講習会		218 名
R1.10.28 食品衛生責任者未加入者講習会		218 名
R1.12.10 受動喫煙対策説明会	<時間> ・5~30 分	82 名 55 機関

③個別課題に関する健康教育 (2 回、102 名、87 事業所)

日時及び説明会名称	概 要	参 加
R1.10.30 食生活改善推進研修会 (総合的健康管理説明会と共催)	<内容> ・「従業員の健康づくりに向けた実践~『食』で会社の活力アップ~」 ・健康経営	47 名 42 事業所

<第2回>

令和元年 8 月 29 日 (木)

- 1 情報提供「これからの地域・職域連携推進の在り方に関する検討会」
- 2 第 1 回作業部会の振り返りと海部地域全体で取り組むべき課題と方向性
- 3 グループワーク

<第3回>

令和元年 12 月 3 日 (火)

- 1 第 2 回作業部会のまとめと今後の取り組み
- 2 情報提供・意見交換

<地域・職域連携推進ワーキング 第2回>

【成果】

■課題の明確化・目標設定

- ①第 1 回作業部会で集約した意見より、圏域で取り組むべき課題と方向性を整理し、共有する。  
「小規模事業所が健康づくりに関心を持ち、健康情報にアクセスしやすくなる」

■連携事業のリストアップ

- ①ブレイン・ライティングによる連携事業への意見出し。
- ②協会けんぽから市町村に対し、「健康宣言」共同実施により事業所の健康経営推進を提案あり。

【課題】

- ・リストアップされた連携事業から取組の具体化、健康づくり支援パッケージの具体化。

<地域・職域連携推進ワーキング 第3回>

【成果】

■連携内容の検討・決定及び提案

- ①連携事業として、次年度の「健康経営セミナー」企画書を提案する。
- ②協会けんぽの「健康宣言」の取組項目に応じて、市町村が保健サービスの資源を洗い出し、健康づくり支援パッケージを作成する。

【課題】

- ・次年度の「健康経営セミナー」開催に向けた各機関の役割確認と準備。
- ・商工会議所・商工会との連携。

海 部 (津島) 続き	R1.12.10 受動喫煙対策説明会	<内容> ・歯科健康教育「海部地域 いい 歯キャンペーン ～フロスで スッキリ!!新習慣～」	55名 45事業所		
	(2) 事業所支援 (18 事業所)				
	①出前講座 (5 事業所、289 名へ実施)				
	事業所 所在地	業種	出前講座 (実施日・内容)	参加数	協力機関
	津島市	小売業	H31.4.23 「健診結果のみかた、マイレ ージ事業、つしまる体操」	18名	津島市 協会けんぽ
	津島市	製造業	R1.6.10 「熱中症予防」	165名	津島市
	愛西市	製造業	R2.1月 「あいさいのびのびストレッ チ、健康講話」	20名	愛西市
	飛島村	製造業	R2.2.5 「自分に合った食事の選び 方、村のサービス」	66名	飛島村 健保組合
	飛島村	運輸業	R2.1.18 「健診結果の見方、腰痛スト レッチ、村のサービス」	20名	飛島村 協会けんぽ
	②訪問による支援 (12 事業所) 健康経営の各種表彰制度の案内、保険者及び市町村の保健サービスの情報提 供等を行う。市町村、協会けんぽ及び労基署と同道訪問。				
③電話及び郵送による情報提供 (5 事業所) 健康経営の各種表彰制度の案内、保険者及び市町村の保健サービスの情報提 供等					
3 事業所の従業員の実態調査 (添付資料) ・実施期間：H30.12.3～R1.6.10 ・対象者：出前講座を実施した6事業所、従業員331人(回収率94.9%) ・回答者の状況：20～40歳代が7割、男性が8割、管内居住者が5割強。					
<b>【評価指標】</b>					
1 健康づくり支援パッケージ案の作成					
2 ① 健康教育の内容、実施回数、参加事業所数、参加者人数					
② 支援をした事業数及び支援内容、愛知県健康経営推進企業の管内事業 所の登録数、あいち健康経営ネットの認知度					
3 アンケート実施事業所数・回答者数、調査内容 (従業員の健康意識・行					

海 部  
(津島)  
続き

動・健康課題)

**【結果・考察】**

**1 健康づくり支援パッケージの作成**

・令和2年度から管内全市町村が協会けんぽとWチャレンジ宣言を実施することとなり、健康づくり支援パッケージ作成という現場レベルでの具体的な事業展開に発展した。市町村の規模・保健サービスの内容、職域ニーズに違いはあるものの、これにより関係機関が持つリソースの相互共有が図れ、今後パッケージを活用した取組みにより連携促進が期待できる。

**2 ①健康教育の内容、実施回数、参加事業所数、参加者人数**

・H30年度から、事業所が主体的に従業員の健康管理体制を構築できるよう「健康経営」を切り口とし、事業主や健康管理担当者等が参加する労基署の説明会等の場を活用し、健康教育を行ってきた。  
 ・今年度は「健康経営」「受動喫煙対策」「個別健康課題」の内容で全11回、1083人に対し健康教育を行うことができた。

**2 ②支援をした事業数及び支援内容、愛知県健康経営推進企業の管内事業所の登録数、あいち健康経営ネットの認知度**

・R1年度は、訪問件数が増加、電話・郵送件数が減少し、関係者と共に事業所へ出向き、担当者へ直接説明する機会が増加した。また、50人未満事業所に対する訪問及び出前講座が増加した。  
 ・出前講座の内容は、事業所の要望に沿って実施した。協会けんぽに加入する事業所は、協会けんぽの健康講座メニューと市町村の保健サービス案内を中心に事業所での出前講座を実施した。

	支援要望		支援内容（再掲）					
			訪 問		電話・郵送		出前講座	
	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1
<b>全件数</b>	<b>21</b>	<b>18</b>	<b>10</b>	<b>12</b>	<b>9</b>	<b>5</b>	<b>8</b>	<b>5</b>
50人 以上	11 (52.4)	8 (44.4)	5 (50.0)	5 (41.7)	4 (44.4)	3 (60.0)	5 (62.5)	2 (40.0)
50人 未満	10 (47.6)	10 (55.6)	5 (50.0)	7 (58.3)	5 (55.6)	2 (40.0)	3 (37.5)	3 (60.0)

・H30年度から開始した愛知県健康経営推進企業登録は、令和2年3月末時点の管内事業所登録数が5事業所であった。また、労基署主催の業種別説明会の参加者へのアンケート調査では、愛知県健康経営推進企業の「登録あり」と回答した事業所は6.3%(11事業所)であった(6事業所は本社が管外)。

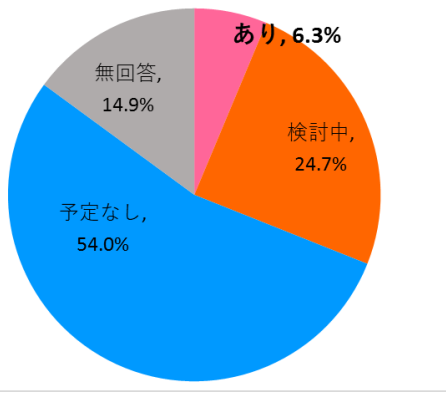
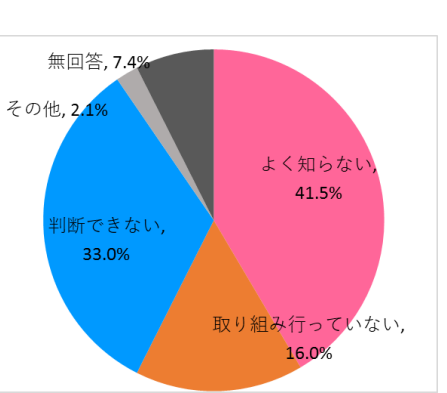
「実施予定なし」の理由は「よく知らない」「判断できない」「取り組みを行っていない」の順が多かった。今後、更なる啓発活動(事業主へ情報発信)を行い、健康経営ポータルサイトの活用等による好事例の発信を行っていく必要がある。



地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

<p>海 部 (津島) 続き</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">愛知県健康経営推進企業登録(R1 年度)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">登録予定なしの理由(R1 年度)</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p><b>3 アンケート実施事業所数・回答者数、調査内容（従業員の健康意識・行動・健康課題）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 事業所、従業員 331 人へ実施(回収率 94.9%)</li> <li>・健康づくりに関する情報提供は「どちらでもよい」が半数以上。自身の気になる健康問題は「運動不足」「腰痛」が最上位で運動のニーズが高かった。「メタボ」「高血圧」は地域の健康課題と一致したニーズであった。</li> <li>・健康づくりに関心のない従業員へのアプローチとして、まずは関心のある健康問題を切り口に取り組みを行えると良い。</li> </ul>		
<p>知多半島 (半田)</p>	<p><b>【内容】</b></p> <p>1 ワーキンググループの実施（3回/年）</p> <p>（1）第1回、第3回 ⇒受動喫煙対策の推進について</p> <p>（2）第2回 ⇒ 地域保健と職域保健の連携方法の見直しについて</p> <p>2 知多半島医療圏地域・職域連携推進協議会の開催(令和2年2月20日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の取組報告と次年度の取組の方向性について協議</li> </ul> <p>&lt;結果（目標に対する達成状況）&gt;</p> <p>（目的1 に対して）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現状（知多半島地域の施設における禁煙実施状況等）について調査票を取り、明らかにすることができた。</li> <li>2 各立場で取組もうとしている受動喫煙防止対策について、グループワーク及び意見交換を通して共有できた。</li> <li>3 連携や協働事業について検討できたが、今年度は具体的なモデル事業所の選定がなかったため紙面でモデルケースを設定して検討した。</li> <li>4 地域・職域両方の各組織の受動喫煙防止対策が推進された。</li> </ol> <p>（目的2 に対して）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、2、3 職域分野が地域保健分野と連携することのメリットをまだまだ感じられておらず、連携したいと考えている内容について具体的に検討する以前の段階であることがわかった。</li> </ol>	<p>&lt;第1回&gt;</p> <p>令和元年6月21日（金）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 講話「地域保健および職域保関係者が協力して住民の健康を支援する」</li> <li>2 グループワーク 「受動喫煙対策の推進」について4グループにわかれて話し合い、「魚の骨」を作成。 その中から次の基準ごとに第3位まで順位付けを決める。 ア. 緊急度、イ. 効果の高さ、ウ. 取り組む容易さ（費用面）、エ. 取り組む容易さ（時間的）</li> <li>3 情報提供 (地域包括ケア・認知症対策室より)</li> </ol> <p>&lt;第2回&gt;</p> <p>令和元年9月6日（金）</p> <p>第1部</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報提供「半田市立半田病院がん相談支援センターの取組」</li> <li>2 講演「治療と仕事の両立支援のために大切なこと～自身の闘病体験も踏まえて～」</li> </ol>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>講話を通し、地域保健分野・職域保健分野の各立場に対して連携の必要性を伝えることができた。グループワークは活発な意見交換がなされており、受動喫煙対策について、各チームから多くのアイデアや提案が出された。話し合い結果を持ち帰り、各所属でできる受動喫煙対策について考えてもらうことができた（第3回ワーキンググループで評価）。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>職域分野の協力促進。今年度は、知多県民センター産業労働課の協力を得ながら、連携の糸口を探していく。</p> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>職域分野で関心が高い内容の研修会と2部構成で実施したため、職域からの参加者申し込みを多く得ることができた。しかし第1部の研修会のみ参加申し込みも多いことから、地域保健との連携のメリットが職域側に浸透していない状況も</p>

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

<p>知多半島 (半田) 続き</p>	<p><b>【ストラクチャー評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所内の職員間、知多保健所との情報共有（情報共有できているか） ⇒ ワーキンググループでは所内職員、知多保健所職員にも役割を担ってもらい情報共有しながら進めることができた。</li> <li>・無理のない体制（無理のないスケジュールであったか） ⇒ 年間を通してバランスよくワーキング及び協議会を開催できた。</li> <li>・予算の確保（必要な予算確保ができていたか） ⇒ 当事業で要求していた分の予算確保はできなかったため、他事業と関連を持たせて実施する等、工夫して実施することができた。</li> </ul> <p><b>【プロセス評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関の参加状況（必要な機関が参加できているか） ⇒ 協議会で2商工会議所が会議前に参加ができなくなった。</li> <li>・ワーキンググループメンバーの選定（対象者の選定は適切だったか） ⇒ 参加者間では活発な意見交換ができた。職域分野からの参加者をより増やしていくための工夫が必要。</li> <li>・話し合いの内容（目標の達成に向けて適切な内容だったか） ⇒ 共通の目標を設定して話し合いを実施することができた。</li> </ul> <p><b>【アウトプット評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連絡数（訪問、電話、メール等） ⇒ 時機を得たテーマを選択したこともあり、市町-保健所間、行政-商工会議所及び商工会間、保健所-事業所間の連絡数は増加した。</li> <li>・ワーキンググループ及び協議会での構成員の発言 ⇒ 自治体からは「職員や来庁者の中に喫煙者の減少が見られる」、事業所からは「優秀な人材を迎えるために健康経営宣言は有効であり、その意味から経営者の中に喫煙者が減る傾向が見られる」等、効果が見られているとの発言が聞かれた。また地域・職域連携については、「同じ課題に対しても、各メンバーが普段は違う立場から取り組んでいるため、集まることを通して新しいことを知ることができる刺激的な場になっている」との発言や「地域・職域連携は健康に関心がない人たちへのアプローチの壁を破る重要な仕組みになっていると思う」等の発言が聞かれた。</li> <li>・ワーキンググループ及び協議会後の各所属への情報還元 ⇒ 第1回ワーキンググループで出た意見を参加者に持ち帰ってもらい、各職場で再度検討してもらった。その回答をもとに意見をまとめ第3回ワーキンググループで成果としてまとめた。協議会後に議事概要を構成員に送付したところ前向きなフィードバックがあった。</li> <li>・協議会における協議内容の進展状況 ⇒ 概ねは、地域保健分野、職域保健分野の両方から受動喫煙対策が進んだとの内容の発言が聞かれている。まだ残されている課題についても共有することができた。</li> </ul> <p><b>【アウトカム評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知多半島地域の施設における禁煙実施状況</li> </ul>	<p>第2部</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報提供「愛知産業保健総合支援センターの取組」</li> <li>2 情報提供「統計から見る 知多半島地域 働く世代の健康についての状況」</li> <li>3 グループワーク「知多半島の人たちは本当に『生活習慣改善への取組意思』が低いのか？」</li> </ol> <p>＜第3回＞ 令和元年11月15日（金）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報提供「地域・職域連携推進ガイドラインの改訂について」</li> <li>2 地域・職域連携推進協議会における課題解決方法について</li> <li>3 今年度の取組について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 受動喫煙対策の現状と課題</li> <li>(2) グループワーク【課題解決策の評価指標を企画】</li> <li>(3) 協議会に向けて</li> </ol> </li> </ol>	<p>わかった。交流会参加者からは職域分野の率直な声を聞くことができた。 また産業保健総合支援センターの取組を紹介してもらうことは、地域保健側が職域保健側の支援を知る機会となった。</p> <p><b>【課題】</b> 小規模事業所の課題やニーズ把握ができていないので、その方策は別途検討する必要がある。</p> <p>＜地域・職域連携推進ワーキング 第3回＞</p> <p><b>【成果】</b> 1回ワーキンググループで得られた意見を活かして、具体的なモデルケース4例を設定してグループワークを実施し、課題解決策を協議した。活発な意見交換がなされ、短時間で対策と評価指標までグループごとに作ることができた。</p>
-----------------------------	---	--	---

	地域・職域連携推進協議会内容	地域・職域連携推進ワーキング内容	連携事業
知多半島 (半田) 続き	<p>⇒ 市町は建物内禁煙がほぼ実現しているが、敷地内完全禁煙に踏み切っているところはまだ少数である。商工会・商工会議所は不特定多数が立ち寄るため敷地内禁煙にすることは当面は困難で、屋外に喫煙所を設けている。</p> <p>・地域・職域間の連絡数の変化</p> <p>⇒ 受動喫煙対策についての連絡数は増加した。歯科医師会は禁煙支援・受動喫煙対策に力を入れており、医科歯科連携や地域・学校との連携も進んでいる。</p> <p>・次年度の協議会の取組内容・今後の対策への状況</p> <p>⇒ 次年度は引き続き受動喫煙対策の推進を実施することと、糖尿病及び糖尿病性腎症重症化予防対策に取り組んでいくことで同意が得られた。</p>		
西三河北部 西三河南部西 (合同) (衣浦東部)	<p><b>【内容及び結果】</b></p> <p>1 市町村及び事業所の地域職域連携事業の検討のために</p> <p>(1) 担当者会議にて市地域職域連携状況を把握 (R1. 7. 3)</p> <p>(2) 事業所訪問にて中小企業健康づくりの取組み状況の把握 (R1. 9～11)</p> <p>2 作業部会の開催 (2回) ①令和元年9月5日、②12月26日</p> <p>(1) 出席者 26名 事業所、健康保険組合、市町村、保健所等を対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講話：「重症化予防に焦点を当てた保健指導」(大学教授)</li> <li>・アプローチが困難な事例について考えるグループワーク</li> </ul> <p>(2) 出席者 32名 事業所、協会けんぽ、商工会議所、労働基準監督署、及び地域保健担当者等を対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中規模事業所の訪問に関する報告</li> <li>・就労世代の困り毎に関するグループワーク(受動喫煙、健康経営、治療と仕事の両立支援等)</li> </ul> <p>3 従業員・衛生管理者に向けた健康づくりの発信 3回 248名 令和元年9月3日、9月4日、9月5日(3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労世代の運動のすすめ(プラス10)及び健康増進法の改正</li> </ul> <p>4 協議会の開催(1回)→資料の送付でもって開催に変える 構成員 29名 圏域各市(中核市含む)、事業所、各保険者、協会けんぽ、地域産業保健センター、管内栄養士会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、学識経験者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度地域・職域連携推進事業の実施状況・健康課題について</li> <li>・令和2年度地域・職域連携推進事業計画(案)について</li> <li>・健康対策課より情報提供(健康経営、あいち健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」について)</li> </ul> <p><b>【評価指標に基づく結果・考察】</b></p> <p>1 作業部会、協議会開催回数について</p> <p>計画どおり作業部会2回、協議会1回(書面開催)を開催した。この度は、テーマに沿った関係機関をセレクトし、呼びかけたため、グループワークに</p>	<p>&lt;第1回&gt; 令和元年9月5日(木)</p> <p>1 講演「目からウロコの保健指導～重症化予防に焦点を当てて～」</p> <p>2 グループワーク「アプローチが困難な事例についてみんなで話そう」</p> <p>※グループごとに経験年数、職域、地域に所属する部署ごとに異なるメンバーでグループ分けを行った。</p> <p>&lt;第2回&gt; 令和元年12月26日(木)</p> <p>1 報告「就労世代の健康づくりを考える」</p> <p>ア.フタバ産業知立工場 イ.知立市、みよし市 ウ.衣浦東部保健所</p> <p>2 意見交換「就労世代の健康づくりについて困りごとを話してみよう」</p> <p>※受動喫煙、健康経営、治療と仕事の両立支援の3Gに分かれ、予め希望のグループを聴取し話し合いを実施した。</p> <p>各グループには市の商工会議所がマッチングできるように工夫をした。</p>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>○事後アンケートより、20名が理解できた、ほぼ理解できたと回答した。</p> <p>○自分の指導を振り返りたい、相手主体の保健指導を再認識した、やる気スイッチを探したいとの感想が聞かれた。</p> <p>○グループワークでは①企業や健康保険組合の人の話を聞く貴重な機会だった、②各市の支援方法が様々で聞くことができ勉強になったとの感想が聞かれた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>重症化予防へのアプローチは重要であり、今後も学ぶ必要があると感じている。他機関の研修を紹介していきたいと考えている。</p> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>○中小企業における健康づくり施策を行政と協働して取り組むという事業はモデル的に実施できた。</p> <p>○参画した2市からは一緒に取り組むことでノウハウを得ることができたとの感想が聞かれた。</p> <p>○商工会議所からは、商工会議所の理事会等に市事業の紹介の機会を設けることも可能との発言が聞かれた。</p> <p>○中小企業から次年度も継続して取り組みたいとの声が聞かれた。</p> <p><b>【課題】</b></p>

	地域・職域連携推進協議会内容	地域・職域連携推進ワーキング内容	連携事業
西三河北部 西三河南部西 (合同) (衣浦東部) 続き	<p>において参加者全員の発言がみられた。</p> <p>2 市と協働し、受動喫煙対策等健康づくりの取り組みを講じた事業所数 2 圏域（各 1 市）9 事業所が参加し、出前講座、啓発媒体の設置等の健康づくり事業を選択し実施した。</p> <p>3 自宅でできる体操（プラス 10）の参加者数、満足度 3 回計 2 4 8 名の参加があり、事後アンケートにて 5 点満点の平均 3.9 点評価で概ね良いという評価であった。</p> <p>4 関係機関と共に検討した生活習慣病対策について 事業所とは、健康マイレージ事業、受動喫煙対策、製造業には自動販売機設置が多いため砂糖の含有量を知りたいというニーズを引き出すことができた。 行政、関係機関とは特定健診、がん検診、データヘルス計画の共通事業の検討を実施した。 糖尿病性腎症重症化予防は各市のお互いの分野で取り組まれている内容について理解を深めることができた。 各市のデータを比較、指標の傾向を知ることができた。</p>	<p>&lt;第 3 回&gt; 書面開催</p> <p>1 令和元年度地域・職域連携推進事業の実施状況及び健康課題について ア. 令和元年度地域・職域連携推進事業実施状況 イ. 西三河北部・南部西医療圏の主な健康等の情報 ウ. 規模別定期健康診断実施状況</p> <p>2 令和 2 年度地域・職域連携推進事業計画（案）について</p> <p>3 報告 愛知県における健康づくり事業について（健康対策課）</p>	<p>パッケージ化した媒体は各市へ示すことができたため、次年度職域との連携についての相談を受けていきたいと思う。 また、商工会議所との連携ができていない市の連携推進をすすめていけるとよい。</p> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第 3 回&gt; 【成果】 ○書面開催にて、構成員へ資料提供はできた。個別にインタビューをしていきたいと思う。 【課題】 書面開催となったため、意見交換が実施できなかったが、次年度 1 回目の作業部会で各市、事業所等の意見を聴取していきたいと思う。</p>
西三河南部東 (西尾)	<p>【内容】※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から会議開催は中止し、資料配布により書面開催とした。以下は予定していた開催内容。</p> <p>日時：令和 2 年 2 月 28 日(金) 午後 1 時 30 分から午後 3 時まで 会場：西三河総合庁舎 7 階 701 会議室</p> <p>開催内容： 1 あいさつ 2 内容 (1) 報告 ア 「地域・職域連携推進ガイドライン（改訂版）」について イ 西三河南部東医療圏の主な健康等の情報について ウ 今年度の西三河南部東医療圏地域・職域連携推進事業の取り組み状況について (2) 議題 令和 2 年度西三河南部東医療圏地域・職域連携推進事業計画（案）について 3 情報提供 (1) 受動喫煙防止対策（改正健康増進法）について (2) 健康経営推進企業支援事業について (3) 職場での定期健診等を利用した風しんの追加的対策について</p> <p>【評価指標に基づく結果・考察】 ○ 作業部会を中心とした関係機関の参加状況</p>	<p>&lt;第 1 回&gt; 令和元年 7 月 2 日(火)</p> <p>1 内容 (1) 報告 ア 西三河南部東医療圏の主な健康指標等について イ 平成 30 年度西三河南部東医療圏地域・職域連携推進事業の取り組み結果 (2) 議題 ア 令和元年度西三河南部東医療圏地域・職域連携推進計画について イ 今後の地域・職域連携推進事業に向けての意見交換 (3) 情報提供</p> <p>&lt;第 2 回&gt; 令和元年 12 月 16 日(月)</p>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第 1 回&gt; 【成果】 ○当圏域の健康指標や特定健診・特定保健指導の情報を、皆で共有できた。 ○今年度、各機関が取り組む保健事業の情報交換を実施。新たな事業や重点的に取り組む事業の情報など、地域と職域相互で共有することができた。 ○今後施行される改正健康増進法について、対象施設に対する啓発方法について、意見交換できた。 ○作業部会終了後、一部関係機関で今年度実施する啓発・調査の話し合いを行うことができ、活発な意見交換ができた。 【課題】 ○各機関が今年度の事業計画を報告し、新たな取組等各機関で取組を進めているが、連携した取組への発展までには繋がりがづらい。 ○毎回、最新の健康指標として EBSMR の数値等を確認しているが、毎年同じ健康課題が挙がっている。（女性の胃がんや脳血管疾患の死亡率が高い、高血糖者が多い）</p> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第 2 回&gt; 【成果】</p>

西三河南部東 (西尾) 続き	<p align="center"><b>地域・職域連携推進協議会内容</b></p> <p>都合がつかないとのことで、作業部会2回とも欠席している機関あり。 地域・職域が連携した取り組みを推進するためには、理解、協力を得る必要がある機関であり、代理でも出席が得られるよう働きかける必要がある。</p> <p>○ 事業の企画検討及び実施状況 今年度、主な取組内容としていた「小規模事業所への働きかけ」について、保健所が他関係機関と連携して行った取組を第2回作業部会で報告した。今年度の結果を踏まえた今後の取組計画も提示し、次年度以降に繋がるものとした。</p> <p>○ 協議会による連携事業の推進（協議会への参加状況、事業に対する理解度） 協議会は、会議としては開催していないが、書面にて意見を確認した。 2機関から情報提供があり、構成員には「協議会ニュース」臨時号として、資料の要点と情報提供内容をまとめたものを送り、共有した。</p>	<p align="center"><b>地域・職域連携推進ワーキング内容</b></p> <p>1 内容 (1) 報告 ア 「地域・職域連携推進ガイドライン（改訂版）」について イ 圏域の主な健康等の情報について ウ 各機関の今年度の地域・職域連携推進事業の取組状況について エ 幸田町商工会との連携事業について (2) 意見交換 ア 受動喫煙防止対策（改正健康増進法）について イ 来年度の事業計画について (3) 情報提供</p>	<p align="center"><b>連携事業</b></p> <p>○今年度改正されたガイドラインのポイントについて、助言者から説明を聞き、皆で確認することができた。 ○保健所が関係機関と連携して行った具体的な取組の報告を行った。 ○受動喫煙対策の強化に関連して、地域の健康指標として喫煙者率の推移等を共有した。 <b>【課題】</b> ○チラシ配布や情報提供等の抽象的な取組は、効果が見えづらく評価がしづらい。 ○ガイドライン改訂によって、具体的な取組の実施に繋げる必要があると示されており、事務局として事業・会議の進め方も検討する必要がある。</p>
東三河北部 (新城)	<p>3月に予定していた協議会はコロナの関係で中止（書面開催もなし）</p>	<p>&lt;第1回&gt; 令和元年10月28日（月）</p> <p>1 報告・情報提供 (1) 新城市・北設楽郡地域の生活習慣病の状況 (2) 働く世代の糖尿病予防とたばこ対策</p> <p>2 意見交換 地域・職域の取組について情報共有し、働く世代を中心にした働きかけと、各機関で協働した生活習慣病予防への対策について協議した。 また、健康増進法の全面施行に向けた職場内での受動喫煙防止と喫煙対策について情報交換を行った。</p> <p>&lt;第2回&gt; 令和2年2月19日（水）</p> <p>1 報告・情報提供 (1) 地域の糖尿病予防・重症化予防の取り組みについて (2) 医療機関受診への働きかけについて</p> <p>2 意見交換 地域保健における糖尿病予防・重症化予防の取組について検討するとともに、地域と職域が連携して取り組めることを検討した。</p>	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt; <b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職域・職域双方での課題や健康づくり対策について検討し理解を深め、健康マイレージ事業や出前講座を、職域で活用するための情報交換と検討ができた。</li> <li>・健康経営としての事業所の取組を推進するため、法人会・商工会を通じ情報提供をすることになった。</li> <li>・市町村から事業所へ訪問し、健康マイレージ事業への職場参加の働きかけをすることとなり、従業員の取組につながった。</li> <li>・事業所での特定保健指導の実施状況と受診率の向上のため対策を検討できた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の中には圏域外在住者が多い事業所もあり、従業員の健康づくりのために活用できる地域保健事業や社会資源の情報提供が難しいことがある。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt; <b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働基準監督署から労働安全衛生法に基づく定期健康診断の状況についてデータ提供を受け、圏域における糖尿病予防および糖尿病性腎症の重症化予防の重要性について理解を得ることができた。</li> <li>・健診の実施のみでなく保健指導や通院者継続のための環境づくりについて今後の取組を出し合えた。</li> <li>・関係機関で連携し、糖尿病予防をテーマとした啓発の機会を設けることができた。</li> </ul>

東三河北部 (新城) 続き	地域・職域連携推進協議会内容	地域・職域連携推進ワーキング内容	連携事業
東三河南部 (豊川)	<p><b>【予定内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和元年度東三河南部医療圏地域・職域連携推進事業の取組状況について</li> <li>令和2年度東三河南部医療圏地域・職域連携推進協議会計画書(案)について</li> </ol> <p><b>【結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3月4日(水)に開催を予定し、2月27日に構成員あて会議資料を郵送したが、その後、新型コロナウイルス感染対策として、協議会開催は中止となった。</li> </ul> <p><b>【評価指標に基づく結果・考察】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>健康情報発信数</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「東三河南部医療圏地域職域連携推進協議会からのお知らせ」: 464名(全国労働衛生週間説明会出席所属)</li> <li>啓発媒体「飲み物に含まれる砂糖の量」作成後配布希望数: 84枚(協議会中止により、実際の配布は未)</li> </ul> </li> <li><b>研修会の参加</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者数: 61名(平成30年度研修会参加者: 32人)</li> </ul> </li> <li><b>関係機関と協力した取り組み内容と回数</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>労働基準監督署・労働安全衛生協会と全国労働衛生週間説明会における健康づくり普及啓発と健康管理アンケート 3回</li> <li>豊川市と豊川市民まつりににおける糖尿病予防普及啓発 1回</li> <li>豊川市と商工会議所・商工会への会員に向けた健康支援普及啓発 5件</li> <li>連携した商工会議所・商工会: 2件</li> <li>連携した事業所数 6件</li> </ul> </li> <li><b>健康経営に取り組み始めた事業所数と感想</b> アンケート回答事業所 136件中健康経営に取り組む事業所数 42件&lt;30.9%&gt;</li> </ol> <p><b>【考察】</b></p> <p>目標1について、新たに商工会議所等へのアプローチを開始したが、直接会員への啓発に繋がったのは1か所であった。また、啓発物の作成が協議会の開催中止により配布に至らなかったこともあるため、引き続き啓発する必要がある。目標2についても啓発の機会を活用し、引き続き遂行していく。そのため、次年度からは3年計画として目標に向けていく予定とする。</p>	<p>&lt;第1回&gt; 令和元年8月20日(水)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>報告:</b> 東三河南部医療圏の各健診等データから見た健康課題について</li> <li><b>グループワーク:</b> テーマ「血糖高値の人が多い地域で働く世代の人の健康保持を推進しよう」 (A:若いうちからの健康支援・早期からの意識付け、B:糖尿病重症化の予防、C:有言実行による健康への個人目標の達成、D:仲間で実施を励みに続ける健康行動)</li> </ol> <p>&lt;第2回&gt; 令和元年12月12日(木)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>報告:</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>企業・事業所における健康管理についてのアンケート結果</li> <li>東三河南部医療圏地域・職域連携推進ワーキンググループからの発信</li> </ol> </li> <li><b>グループワーク:</b> テーマ「東三河南部地域で働く人に向けたワンポイントアドバイスについて」 A「飲み物に含まれる砂糖の量」の所属での活用、B働く人が元気に仕事を続けるための取り組み事例の提示、C サイレントキラー糖尿病の効果的な修正</li> </ol>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圏域内は小規模事業所の占める割合も高く、社会資源も少なく人材も不足しがちな地域であるため、ソーシャルキャピタルの有効な活用についても検討し、効率的・効果的に事業を展開していく必要がある。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働く世代に対する共通の課題を検討することで、地域・職域それぞれの考え方の理解及び意見の共有ができた。又、初めて参加した一宮商工会に対して豊川市と豊川保健所で理事会での健康講座開催に繋げることができた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回のWGで啓発内容について、具体的に絞り込むことは難しかったため、第2回で啓発資料の作成に取り組む。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象とする働く世代への効果的な啓発物について、開催前アンケートで構成員から希望を聞き取った上でグループワークをしたため、構成員から啓発に向け具体的な意見を得ることができた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平日の昼間に職域を対象とした研修会を開催するため、圏域健康づくり研修会とワーキンググループを同日開催としているが、充実したワーキンググループの開催に向けては別日開催も視野に入れる。</li> <li>グループワークは、各構成員の意見をいただきっぱなしで終了となったため、保健所で整理し、引き続き啓発物の作成に取り組むため、各構成員へ議事録及びグループワークのまとめを送付し、意見をいただいたうえで、活用度の高い啓発物の作成に向けていく。</li> </ul>

## 課題一覧

医療圏 (保健所)	課 題 の 内 容
尾張西部 (一宮)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターの印刷・配布に使う予算がほとんどないため、事業所に効果的に届けることが難しい。</li> <li>・連携一覧表の有効活用。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康社食プロジェクトにおける評価の仕方。</li> </ul>
尾張東部 (瀬戸)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診率は高いものの、特定保健指導終了率は、年によりばらつきがある。健診結果を踏まえて、生活習慣病を予防するための次の行動につなげていない可能性がある。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業で実際に取組まれている内容からヒントを得たため、その他の企業への情報提供ができると良い。</li> <li>・健康づくりに関して関心がない人へのアプローチについて検討する必要がある。</li> </ul>
尾張北部 (春日井)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「働く人のための健康づくりガイド」について、効果的な発行方法を検討する必要がある。</li> <li>・健康づくり出前講座実施事業所が、引き続き健康づくりに取組めるような支援が必要と考える。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌発行の評価の方法について</li> <li>・健康づくり出前講座について、圏域内で統一した媒体を検討する必要がある。</li> <li>・今年度の取組みを踏まえて、より効果的な高血圧啓発及び事業所支援を検討し次年度取組む。</li> </ul>
尾張中部 (清須)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内市町いずれも循環器・脳血管疾患での死亡率が全国と比較して高く、リスク要因である喫煙率が県内では高く推移している。</li> <li>・改正健康増進法の詳細が明らかになっていないため、連携事業を考案するにあたり、正確な情報の収集が必要</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小事業所において改正健康増進法が認知されておらず、法改正に向けた準備が進んでいない。</li> <li>・3年計画の目標である、喫煙率の減少に向けた禁煙の推進は、来年度、改正健康増進法の周知徹底を図った後に本格的に取り組むこととなる。</li> </ul>
海 部 (津島)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のデータや実態調査、各機関の現在の取組を整理し、地域全体として取り組むべき健康課題と取組みの方向性をメンバーと共有。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リストアップされた連携事業から取組の具体化、健康づくり支援パッケージの具体化。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第3回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の「健康経営セミナー」開催に向けた各機関の役割確認と準備。</li> <li>・商工会議所・商工会との連携。</li> </ul>
知多半島 (半田)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職域分野の協力促進。今年度は、知多県民センター産業労働課の協力を得ながら、連携の糸口を探していく。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模事業所の課題やニーズ把握ができていないので、その方策は別途検討する必要がある。</li> </ul>

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

医療圏 (保健所)	課題の内容
西三河北部 西三河南部西 (合同) (衣浦東部)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重症化予防へのアプローチは重要であり、今後も学ぶ必要があると感じている。他機関の研修を紹介していきたいと考えている。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージ化した媒体は各市へ示すことができたため、次年度職域との連携についての相談を受けていきたいと思う。</li> <li>また、商工会議所との連携ができていない市の連携推進をすすめていけるとよい。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第3回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書面開催となったため、意見交換が実施できなかったが、次年度1回目の作業部会で各市、事業所等の意見を聴取していきたいと思う。。</li> </ul>
西三河南部東 (西尾)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関が今年度の事業計画を報告し、新たな取組等各機関で取組を進めているが、連携した取組への発展までには繋がりづらい。</li> <li>・毎回、最新の健康指標としてEBSMRの数値等を確認しているが、毎年同じ健康課題が挙がっている。(女性の胃がんや脳血管疾患の死亡率が高い、高血糖者が多い)</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ配布や情報提供等の抽象的な取組は、効果が見えづらく評価がしづらい。</li> <li>・ガイドライン改訂によって、具体的な取組の実施に繋げる必要があると示されており、事務局として事業・会議の進め方も検討する必要がある。</li> </ul>
東三河北部 (新城)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の中には圏域外在住者が多い事業所もあり、従業員の健康づくりのために活用できる地域保健事業や社会資源の情報提供が難しいことがある。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内は小規模事業所の占める割合も高く、社会資源も少なく人材も不足しがちな地域であるため、ソーシャルキャピタルの有効な活用についても検討し、効率的・効果的に事業を展開していく必要がある。</li> </ul>
東三河南部 (豊川)	<p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第1回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回のWGで啓発内容について、具体的に絞り込むことは難しかったため、第2回で啓発資料の作成に取り組む。</li> </ul> <p>&lt;地域・職域連携推進ワーキング 第2回&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の昼間に職域を対象とした研修会を開催するため、圏域健康づくり研修会とワーキンググループを同日開催としているが、充実したワーキンググループの開催に向けては別日開催も視野に入れる。</li> <li>・グループワークは、各構成員の意見をいただきっぱなしで終了となったため、保健所で整理し、引き続き啓発物の作成に取り組むため、各構成員へ議事録及びグループワークのまとめを送付し、意見をいただいたうえで、活用度の高い啓発物の作成に向けていく。</li> </ul>